

大阪府野 は人間もペットと同じ
瀬町に住む なの、まるで家具と
甲斐尚子さ 一緒に一つのインテリ
んは、愛玩 アにすぎない」と甲斐
動物飼養管 さん。

理士の資格をもつ。これはペットの適正飼養を伴侶動物と呼ぼうとの決議がなされた。

「動物を飼う以上は、動物物の生きる権利を守り、しかもその権利を最大限に生かしてやること。生命のレベルで幅広い知識と技術を修得した資格者、つまりベットの専門指導員である。」

動物としてではなく、家族の一員として生活を共にしてほしいとの願いが込められているが、甲斐さんの言葉のように、日本には残念ながら伴侶動物としての考え方は希薄で、浸透しているとは言い難

ここに一つの事例を紹介しよう。自分たちの生活が犠牲になっても、人生の伴侶として飼いつづけてきた犬との絆を大切にしてきた老夫婦の話である。

残された人生を寒い北国から暖かい温泉地で大好きな犬と一緒に

められ、人間不信に陥ってしまったことに気づいた二人は、愛犬が周囲を気にせずのんびりと人生を送れるようにと、再び故郷の雪国に戻ることを決心したのである。

一方的な契約破棄で、準備金の二千万円

のなかで過ごさせてやられたことに、二人は、お金にも換えがたい満足を覚えたという。

甲斐さんと同じく野瀬町に住むエリザベス・オリバーさん。動物を幸せにすること〃を目的に、機関紙ARR (Animal R

と、二千万円もの準備金は棒に振った。愛犬も金を払って有料の施設に入った二人。しかし、二年後にはこの世を去ったが、苦楽を共にしてきた愛犬の老後を、活動が続けている。



も、必ず家族でとが困難になります。面接を行い、家庭の状態、スベース、だれが中心となつて世話をするのか、また、動物と家族の相性など、細かく話し合つて結果を出す。

犬や猫の寿命は最近では十五年ほどに延び、その間、家族の一員として生涯飼つてもらえるかどうかを判断するのである。

とが困難になります。家族全員で、という気持ち持たなければ」とオリバーさん。

メス犬にはほとんど避妊手術を施しており、今年に入って新しい飼い主に引き取られた犬は六十四。年間では百五十―二百匹にもなる。

現在、イギリスからの寄付で新しい事務所の新設が進んでおり、この夏には完成する。新しい犬小屋や風呂をはじめ、ここを訪れる人たちにさまざまな情

一般的に、最も家
報を提供するための施
設も設けることにして
いる。

真宗用品專門店

木村法衣仏具店

〒600 京都市下京区六条通堀川東入
TEL075-351-5909 FAX365-0508
日 祝日 夜間専用 075・573・2377

ただ単に「かわいい」
 「かわいそう」だから
 というだけでは動物は
 飼えない。動物たちも
 人間と同じかけがえの
 ないたった一つのいの
 ちをもっている。動物
 好きの人が、その無責
 任な飼い方から動物嫌
 いを生み出していると
 いう状況の中、飼う以
 上は動物のいのちを全
 うさせるという厳しさ
 が必要だ。

庭にいる時間が長い母親が動物の世話をできること。子供が飼いたくことも、動物と人間が共存できる社会にたいして、やがてなれるのではないかと、は進学、就職などで家思う。